

公共事業事前評価調書(平成23年度予算要望)

所管課: 河川課

担当班: 企画開発班

事業名	情報基盤整備事業(ダム)	事業区分	基幹事業	事業主体	県
事業箇所	那覇市(金城ダム)、座間味村(座間味ダム)、沖縄市(倉敷ダム)、伊平屋村(我喜屋ダム)、石垣市(真栄里ダム)				
事業の諸元	ダム情報提供システム整備 一式、ダム管理用制御処理装置 1式				
事業の概要	<p>本事業は、県管理5ダムの雨量、流入量、放流量、貯水位等のダム情報を、リアルタイムで確実かつ安定的に提供するため、各ダム管理所および関係出先機関におけるダム管理用制御処理装置の改良と、ダム情報を迅速かつ確実に収集、処理、伝達、提供するシステムを構築するダム情報基盤整備を行う。</p>				
事業の必要性・効果等	<p>県では、水害や土砂災害に対する警戒・避難活動の迅速化を目的として、河川情報基盤整備により河川水位や雨量情報をリアルタイムに観測・収集するシステムを整備して、気象情報等とあわせた防災情報として関係機関や一般に提供するシステムを構築している。</p> <p>このような中、中小河川しかない本県の河川やダムは、近年多発する局地的な集中豪雨に伴う短時間での急激な水位上昇や流量の増大が頻発する傾向であり、ダムの適正管理や防災情報としてのダム情報(雨量、流入量、放流量、貯水位等)の重要性が一層高まっているが、ダム管理装置等の老朽化や情報を収集、提供するためのシステムが未整備であることから、その情報基盤整備が急務となっている。</p> <p>本事業により、ダム管理装置等の改良と情報提供のためのシステム構築を行い、ダム情報の安定的かつリアルタイムな提供と警戒判断等を含めた効率的なダム管理が可能となり、水害や土砂災害に関する伝達情報の多様化と警戒・避難活動の向上や迅速化による被害軽減が期待できる。</p> <p>また、現管理5ダムに加えて、儀間川総合開発事業の2ダム完成後は、県管理7ダムの一括した情報提供が可能となる。</p>				
事業期間	事業採択	平成23年度	完了(予定)	平成28年度	
全体事業費	684	(百万円)	補助・単独の別	交付金	補助率 9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄振興計画において、浸水被害及び土砂災害を軽減するため、災害情報の共有化と迅速な情報提供に資する防災情報システムの整備が位置付けられている。				
環境への配慮	ダム管理所内および関係出先機関、県庁におけるシステム整備であるため、環境への影響は特になし。				
関係する地方公共団体等の意見	特になし				
概要図(位置図)					